



世界遺産で舞う能楽特別公演
演目「二人静 立出一声」

第2回 吉野 権現能

令和7年
10月22日
水

金峯山寺蔵王堂
(奈良県吉野郡吉野町吉野山)

開場 18時 開闢法要・能楽公演 18時15分

定員：90名

チケット購入サイト

チケット発売日：9月10日(水)

料金 23,000 円 (税込・全席自由席)



国宝・世界遺産「金峯山寺蔵王堂」の日本最大秘仏ご本尊特別ご開帳に先立ち、通常は関係者のみで執り行われる開闢(かいびやく)法要に参列し、一足早くご本尊にお目にかかることができます。

その後、ご本尊のご宝前において、人間国宝の大槻文藏師、大倉源次郎師を招いて、吉野山に縁の深い「二人静」がご奉納され、ご観覧いただきます。



第2回

吉野 権現能

世界遺産で舞う能楽特別公演

演目「二人静 立出之一声」

令和7年10月22日(水) 料金 23,000 円(税込・全席自由席)

あらすじ

兄・頼朝との不仲により追われる身となった源義経。年の暮れ、吉野山へ逃げ込んだ義経は、ここで最愛の静御前と別れる。この雪の吉野山での義経と静の別離から、いかほどの時が経ったであろうか…。新春の若菜を摘む乙女に静御前の霊が憑依し、成仏できない身の上を嘆く。若菜摘みの乙女が、勝手神社に納められていた烏帽子・装束を身につけ舞い始めると、静御前の幽霊本体も現れて影の如く寄り添い、「二人静」の場面となる。

義経との逃避行を想いつつ、二人は舞いを舞うのだった。

後年、歌舞伎にも描かれて有名となった物語の原曲の一つが「二人静」。静御前と「吉野山」というテーマが古から人気であったことが伺えます。また、「二人静」の舞台となる勝手神社は、蔵王堂のすぐ近くですが、残念ながら近年火災で焼けてしまいました。今、社殿が再建され、10月25日に落成される慶事の時でもあります。

「吉野」がテーマの歴史物語と静御前の悲話をご鑑賞ください。

プログラム

18:00 開場

18:15 秘仏本尊金剛蔵王権現 かいびやく 開闢法要

18:35 挨拶

金峯山修験本宗管長 総本山金峯山寺管領 五條良知

18:40 対談 「能と金峯山寺」

大倉源次郎（人間国宝・能楽小鼓方大倉流十六世宗家）
五條良知（金峯山修験本宗管長・総本山金峯山寺管領）

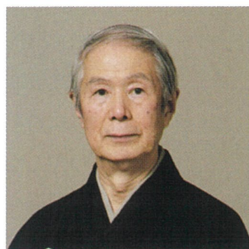
MC：南かおり（MCタレント・吉野町観光大使）

19:00 能 「二人静 立出之一声」

20:00 終演

演者

シテ	里女／静御前	大槻文藏
ツレ	菜摘女	大槻裕一
ワキ	神職	福王知登
笛		斉藤敦
小鼓		大倉源次郎
大鼓		山本哲也
地謡		上野雄三 浦田保親
		斉藤信輔 上野雄介
後見		赤松慎友 武富康之



大槻文藏

能楽師・シテ方観世流/人間国宝/
公益財団法人大槻能楽堂理事長

1942年生。大阪府在住。大槻秀夫の長男。故観世寿夫、故8世観世鏡之丞、父、祖父十三に師事。重要無形文化財保持者（各個認定＝人間国宝）。『刈萱』『鶴羽』『維盛』『敷地物狂』など、多くの復曲能、新作能に携わる。2000年芸術選奨文部大臣賞ほか多数受賞。



大倉源次郎

能楽師・小鼓方大倉流16世宗家/人間国宝/
公益社団法人能楽協会副理事長

1957年生。東京都在住。故15世宗家大倉十郎の次男。父に師事。重要無形文化財保持者（各個認定＝人間国宝）。誰もが「能」と気軽に出会えるよう数多くの能楽公演をプロデュースする等、国内外にて幅広く活躍。大淀町の「ちびっ子櫓垣本座」も指導する。

会場 金峯山寺蔵王堂 〒639-3115 奈良県吉野郡吉野町吉野山2498

アクセス：近鉄吉野線吉野駅よりロープウェイ5分→吉野山駅下車→徒歩10分

※会場には駐車場・駐輪場はございません。お車でお越しの方は、吉野山下千本駐車場等をご利用ください。

※やむを得ぬ事情により、曲目・出演者・日程・終演予定時刻等の変更が生じる場合がございます。あらかじめご了承くださいませよう、お願い申し上げます。

※会場(蔵王堂本堂内)及び公演中の写真撮影及び録音・録画は固くお断りいたします。

※上演中はスマートフォン等のアラームをお切りください。

Google Map

